みなさん　こんにちは

内田修司です。副議長選挙にあたり所信表明をさせていただきます。

私は、現在６２歳、市議会議員となりまして５年を経験させていただきました。

このたび、副議長の職に挑戦したいと思っております。またその職責を十分に果たすことができると思っております。

私は２０代前半に民間企業に就職し、３社に奉職して、つごう３４年働かせていただき、定年前に退職して市議会議員に挑戦いたしました。この民間企業では化学製品の製造業やサービス業で働き、最も多くの時間はコンピューターシステムの設計開発やネットワークシステムの構築保守をおこなっておりました。

４０代より管理職として、組織をマネージメントする役割を担い、一番大きな組織としては配下に２００名以上となるグループの管理職として仕事をさせていただいた時期もありました。組織をマネージメントするにあたっては、配下のメンバーとのコミュニケーションに重きを置き、自部署だけでなく他部署との調整などもうまくやってきたと自負しております。

焼津市議会は２１名の議員が所属する組織であります。では市議会の役割はなんでしょうか。令和 5 年に改正された地方自治法では地方自治体の議会やその議員の役割が再定義されました。議員各位もご存知かと思いますが、市は市民の福祉の増進を図る役割があり、市議会は市の重要な意思決定に関する事件を議決するという役割があります。当然ながら議員各位にはそれぞれ市民の負託を受け、それぞれの意見があるかと思います。そこで私は議長と共に、議員各位とコミュニケーションを取り、意見を聞いて調整を行い、議決をするという

ことを丁寧にやっていきたいと考えております。けっして、単に前例踏襲だけではなく、今の令和の時代に何が市民にとって大事なのかを常に考えることをしたいと思っております。今年に入り、能登半島地震では多くの住民の方々が被害に遭い、いまだに多くの方々が避難生活をしております。焼津市にとっても、この先南海トラフ巨大地震が起き、同様の被害があってもおかしくありません。その際にあっても市民を守り、市民の福祉の増進を図らねばなりません。現在の市民にとって大事なことを、そして、市民の 10 年後 20 年後の将来も考えて、今、より良い選択を焼津市議会としてしていく、その取りまとめを議長と共に行っていきたいと考えております。

焼津市議会として令和の時代に一歩でもより良い方向に進んでいけるように副議長として努力したいと思いますので、議員各位のご支持をいただけますようよろしくお願い申し上げます。